

週刊新潮

3月29日号
400円



12



その現場は悲惨であることが多い

最期は看取られたい、看取りたいというのが大方の願いだと思うが、それが叶わない人が年々増えている。北島三郎の次男だけではない。突然死したまま、何日も何週間もだれにも気づかれない孤独死。そこには寂しさという言葉だけでは語れない問題も潜んでいる。

特集



「北島三郎の次男」「大原麗子」「飯島愛」 年間3万人もいる 「孤独死」の検証

48歳独居男性の現場 死後3か月で発見



墓に入るまで責任をもつ、という意識を！



（死後、1週間程度経過していたとみられている）とスポーツ紙に書かれていた。今月3日、東京都調布市の自宅で発見された北島三郎（81）の次男、大野誠さん（享年51）のことだが、以前にも似たような例があった。たとえば俳優の平幹二郎（享年82）は、一昨年の10月23日、自宅の浴槽で倒れていた。平は連絡が取れなくなつてから長男が見つかるまで間もなかったが、2009年8月6日、自宅の寝室で見つかった女優の大原麗子（享年62）は、死後3日は経つていなかった。

そう語るのは、「孤独死のリアル」の著書もある淑徳大学の結城康博教授で、「東京23区の監察医務院の統計を見ると、毎年増えているようです」と指摘する。実際、東京23区における孤独死統計を見ると、03年には男性799人、女性642人の計1441人だったのが、15年には男性1973人、女性1143人と、倍以上に増えている。最近、「男の孤独死」を上梓した長尾クリニツクの長尾和宏院長も、「都市再生機構が管理する約75万戸の賃貸住宅内での孤独死は、14年度に186件あった。ニッセイ基礎研究所の推計では、日本における孤独死は年間3万人」とされている。

ることがあります。あれは人間の脂や血液や内臓が腐って溶けたものです。亡くなる前、まず筋肉が緩んで糞尿が出て、その後、肛門や耳から血液がどんどん出てきて、腐敗が進むと人型になります。季節や状況にもよりますが、1週間も経つとウジやハエが湧く。こうなると腐敗がどんどん進み、2週間以上でいわゆる人型になります。ベッドなどの上で亡くなっていれば、寝具ごと搬出し、周囲に影響がおよばないこともあるようですが、「狭いトイレだと、血液や

「孤独死の問題は、助けられた命が助けられないことでもあります。一番の問題は、命を救えない突然死に關して遺体の発見が遅れることです。死後3日以内に発見されることが望ましく、実際、3日以上経つと厳し

「孤独死保険」が急成長

「孤独死の問題は、助けられた命が助けられないことでもあります。一番の問題は、命を救えない突然死に關して遺体の発見が遅れることです。死後3日以内に発見されることが望ましく、実際、3日以上経つと厳し

臭いがすべての面にかかり染みこんでしまふ。フローリングや畳の場合は、体液や血液が床下まで染みこむことがほとんどで、木造住宅の場合、体液が天井から下の部屋に漏れるとか、床と階下の天井の間でウジやハエが発生し、下の部屋にウジが落ちることも。鉄筋コンクリート造りでも、亀裂からウジが階下に落ちてくる場合があります。こうなると慣れない業者にはお手上げで、鎌田代表らの出番になるようだ。「酸性とアルカリ性の薬剤を使ったり、複合二酸化塩素という除菌剤を用いたり、オゾンで洗浄したり、それらを現場によって使いわけると、何も知らない人が部屋に入ったとき臭いがしない、という状態にはもっていきません。分譲住宅の場合、家主が手放すことがほとんどで、どうすれば高く売却できるか、費用をどこまでかかせるべきか、アドバイスさせていただきます」と自信を覗かせるが、要

突然死すると発見されるまでに時間がかかります。趣味のサークルにでも入っていればいいですが、人と交流をもたないお年寄りが増えているのです」と説明しつつ、同時に40代以上の孤独死も多くなっている、こう話す。「結婚しない人、離婚して一人暮らしの人が増えているのです。働き方の変化もある。フレックスタイム制で働く方や、契約や派遣社員の方が増えました。昔のようにタイムカードを押し出して働いていれば、定時に出勤しないと会社の人心配して自宅を訪ねたりしましたが、フレックス制だと気が

は孤独死が増えるほど、不動産に知られざる「事故物件」が混ざるといふことだ。たしかに「人間死んだら終わり」という意識でいては、死後、各方面に迷惑がかかってしまふ。「臭いが大変で、場合によってはリフォームに300万円以上かかる。すると敷金、礼金を充てても足りないの、最近、大家さんを対象にした孤独死保険が急成長しています」と結城教授が言うので、パイオニアのアイアル少額短期保険に尋ねると、「2010年、不動産管理業者から、賃貸住宅の入居者が孤独死した際の、オーナー側の損失を補償する保険を求められ、リサーチすると、多くの不動産会社が当社が考える以上にリスクを認識していたのです」商品名は「賃貸住宅管理費用保険」だが、「無縁社会のお守り」がサブネームである。東京海上日動も15年秋に「家主費用・利益保険」を発売。パンフレット

には「孤独死対策に必要な費用を補償!」と書かれ、「17年の販売状況は16年対比で、約1.7倍の伸びと

なっています」(同社)さて、それほど増え、問題をほらむ孤独死だが、先の長尾院長が言う。「孤独死の多くは、60代の

「ゴミの上で、本の横で」

あんしんネット事業部長で整理コーディネーターの石見良教氏も、「一番の孤独死予備軍は65

歳以下の、中壮年層の独居男性で、亡くなるのは60代後半が一番多く、40代からほとんど増えていきます」と話し、実例を挙げる。

「48歳の独居男性は死後3カ月で発見され、床にくっきりと人型がついています。ビデオ店の経営がうまくいかず引きこもってしまつて、座椅子に座つてテレビを観

ていて、なんらかの病魔に襲われたのでしょう。ゴミが積み上がったベランダの扉も開けられません。生涯

お酒好きの男性です。過度に酒を飲み、ストレスが多い生活を、辛いことを他人に言えずにため込んでしまふ。あまり周囲と接触しない。そのうえ高血圧や糖尿病など患い、勝手気ままなタイプの方が孤独死しています」

独身だったようですがご両親は健在で、とても悲しんでおられました」

高齢者は介護保険の申請などで行政とのつながりができるが、中壮年にはそういう機会もない。そこに落とし穴があるという。

「妻子に逃げられて会社も辞め、死後3週間で発見された53歳の男性は、壁に自分を管理する」と張り紙をしていました」(同)

北島三郎の次男、大野誠さんの話に戻れば、「おとなしく地味で、ミュージシャンといつても食っていないレベルでなく、親から小遣いをもらつて生活

して、何ができるわけでもなかったですね」と芸能記者。重なるものが感じられないか。

「次に孤独死しやすいのが認知症の高齢者、その次が生活保護受給者です。前者はゴミ部屋になつていることが多く、ある高齢男性は天井近くまでゴミを積み上げ、その上に布団を敷いて寝起きし、そこで亡くなつていました。生活保護受給者は行政とつながつていても、ケースワーカーが個別訪問できるのは3カ月に一度くらいなんです」と石見氏。一方、若くても部屋にゴミを積み上げてしまふことがあります。

「41歳の女性の准看護師は、170センチの高さまでゴミが積み上がつて、そのなかに人が一人座れるくらいの空間があり、そこで亡くなつていました。仕事のストレスから精神疾患にかかり、セルフネグレクトの状態に陥つたようです」

むろん、いわゆるエリート層とも無縁ではない。

ともはや無間地獄です。しかし、その地獄からは思いのほか早く抜け出せました。エアギター世界一ネタはあつたという間に飽きたのです。でも大谷君にはすぐ次のチャンスがやってきます。大谷君のクラブDJイベントを番組にできないかと吉本が動き、テレビ東京で深夜番組になりました。「バカソウル」です。

クラブの箱を借りて芸人が様々な音楽をネタに笑いを取る。大谷君の夢が見事形になりました。番組発の人気芸人やユニットが出来て大いに盛り上がりました。……大谷君以外は。

蓋を開けてみたら番組の司会は別の芸人と人気アーティストがやり、大谷君はステージ横でアフロマンというキャラクターで出演を終えた芸人に感想を聞く役割だけだったのです。批判しているわけはありません。世の中そんなものです。やりたい仕事と回ってくる仕事は違いますから。ある

「周囲に本を積み上げたソファの上で亡くなつていたのは、一流企業に勤めていた45歳の男性で、ストレスからの休職が長びいて最終的に離職。その後、退職金を食いつぶして生活しながら、何とかしなければ」と考えていたようで、亡くなる1カ月前、地方の両親に電話をしたそうです。でも「助けて」と言えず、元気でやつてるよ。ご両親は、あのと顔をみに行けばよかつた」と悲しんでおられました。婚活用の写真も撮つていたんですが、室内には糖尿病の薬もたくさんありました。夏場、死後1カ半月で発見されたので、部屋は大変でした」

さて、結城教授は次のことをぜひ伝えたいという。「孤独死の場合、事件性を否定しきれないので、第一発見者は民生委員やヘルパーさんでも、警察で2時間ほど事情聴取されます。つまり自分で発見してしまうと疑われかねないので、ま

ず警察に電話し、警察を第一発見者にしてください。聞くと大谷君に近づいたのは、聞く話聞く話がどれも面白くて、オセロの白がひっくり返つて黒になるように、芸人の不幸な話は他では味わえない面白さに溢れています。

「大谷君のツイッターを以前フォローしていたが、全国のクラブイベントの告知と大量の自分への応援コメントのツイートに嫌気がさしてフォローを外しました」そのDJイベントは毎回大盛り上がりとおぼやいていたが、実際は大きなフロアに男の子6人が踊っているだけでした。大谷君はみんなが踊れて盛り上がり、曲を現場で上手に繋ぐことが出来ないから事前に家でテープを作って、現場ではこっそりエアDJとしてやっている。人が話していたカッコいい話を、盗む気

一発見者にする事です。孤独死は玄関の扉を開ける前から、ハエや臭いなどでわかりますから」

では、自身が、あるいは親族が孤独死しないために何を心がければいいか。「東日本大震災から半年ほど、孤独死がピタリとなくなりまし。ゼロではないものの、かなり減つたのです。みんないるんなりに連絡をとり、安否確認していたからでしょう」といふ石見氏の言葉にヒントがありそうだ。長尾院長が提言する。

「何かあつたときに託せる仲間を作つてほしい。近所のスナックに顔を出してお喋りするとか、メル友を作るとか、ヤクルトや牛乳をとって配達のおばちゃんといひさつを交わしておくなど、ネットワークを築くことが大事。ヤクルトや新聞が溜まつていることだつて、安否確認になるんです」

そうして悲惨な死を防ぐことが社会の利益にもつながるの、言うまでもない。

なく無意識に盗んで話す。一度、盗んだ相手に自信満々でその話をしたことがあつた。ラジオリスナーにボスと呼ばせて。そのラジオは熱いメッセージで盛りなで、散々バカにしていたのがある日急に「モー娘。が熱い」と言い出す。ニワカの知識でモー娘。愛を語り、ニワカだとすぐにバレて炎上。写真を撮る時にロック好きをアピールしたいのか口を尖らす。ビック谷。大谷伸彦。大谷ノブヒコ。大谷ノブ彦と4度改名している。心が不安定です。M-1グランプリの決勝で本番直前にネタを変更した。審査員を見た瞬間に、一か八かのネタではなく置きに行つた営業ネタで50点を獲り、行つた。ラジオの番組名がダサすぎる。ダイノジのキスで殺してくれないか。大谷君が熟成されてきて面白いなあ。

世界を驚かし



天下を取りたい男、ダイノジ大谷②

前回の続き、ダイノジ大谷君の話です。とにかく嫌われてしまった大谷君ですが、2006年ダイノジに大きな風が吹きました。相方の大地君がエアギターの大会で世界一になるといふ快挙を成し遂げたのです。大谷君の考えた「漫才」ではなくエアギターで再びテレビの世界に呼ばれました。ところが様々なバラエティ番組にゲスト出演をし

ても、話をフラれるのは大地君だけ。心の中にはもう嫉妬しかなかったでしょう。「ネタを作つてるのは自分だ」、そう思っていたでしょう。心中察します。コンビあるでもありますが、コンビのうち一人だけ売れると、この「地獄」が大きな口を開けて待つて……。ましてやネタを考えていない方だけが売れるのは、考えている方からする

時大谷君が私に教えてくれました。奥さんがその番組を観た感想は「あれ? パパがずつとやってきたイベントなのに? もっとパパが観たいな」だったそう。その頃からです、私が大谷君に近づいたのは、聞く話聞く話がどれも面白くて、オセロの白がひっくり返つて黒になるように、芸人の不幸な話は他では味わえない面白さに溢れています。

「大谷君のツイッターを以前フォローしていたが、全国のクラブイベントの告知と大量の自分への応援コメントのツイートに嫌気がさしてフォローを外しました」そのDJイベントは毎回大盛り上がりとおぼやいていたが、実際は大きなフロアに男の子6人が踊っているだけでした。大谷君はみんなが踊れて盛り上がり、曲を現場で上手に繋ぐことが出来ないから事前に家でテープを作って、現場ではこっそりエアDJとしてやっている。人が話していたカッコいい話を、盗む気

面白いなあ。大谷君が熟成されてきて面白いなあ。

連載 13
いがらしみきお
東野幸治

1967年生まれ、兵庫県出身。東西問わずテレビを中心に活躍中。著書に「泥の家族」「この間。」がある。